

神照小学校からの報告

「みずすまし」水生生物調査結果表

調 査 場 所 名 (No.)			新庄寺町 No.1				口分田町 No.2				神照小学校付近の川 No.3				
月 日 時 刻			6月20日 15時00分				7月24日 9時00分				7月24日 10時00分				
天 気			晴れ				晴れ				晴れ				
水 温 (°C)			26.0 °C				20.0 °C				26.0 °C				
気 温 (°C)			32.0 °C				28.0 °C				32.0 °C				
川 幅 (m)			1.1 m				0.6 m				1.1 m				
河 川 名			新庄寺の川				口分田町の川				鬼川				
生 物 を 採 取 し た 場 所			全 面				全 面				全 面				
水 深 (cm)			12.4 cm				16.7 cm				34.0 cm				
流 速 (cm / s)			19.2 cm/s				45.0 cm/s				83.0 cm/s				
水 の よ う す		指 標 生 物													
I き れ い	1	カワゲラ類		○											
	2	ナガレヒゲラ・ヤマトヒゲラ クロツツヒゲラ類													
	3	ヒラタゲロウ類													
	4	フユ類													
	5	ヘビトンボ類													
	6	カガシボ類													
	7	サワガニ		○				●							
I・II 共通	8	ウスムシ類													
	9	2以外のヒゲラ類						●							
	10	3、14以外のカゲロウ類													
II 少しよごれている	11	ヒラタゲロムシ類													
	12	シジミ類		○				○				●			
II・III 共通	13	カワナ		●				○							
III よごれている	14	サホコカゲロウ													
	15	ヒル類													
	16	ミスムシ										○			
	17	モノアラガイ													
III・IV 共通	18	サカマキガイ													
IV 大変よごれている	19	赤いユスリカ													
	20	イトミミズ類													
	21	ハナアブ類													
水 質 判 定 表	水のようすの区分			I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV
	1	みつかった指標生物の 種類の計 (○+●)		2	2	1		2	3	1			1	1	
	2	みつかった指標生物のうち 一番数の多くあった種類(●)			1	1		2	1				1		
	合 計 (1欄+2欄)			2	3	2		4	4	1			2	1	
	判定結果(合計が最も大きい区分)			II・III				I・II				II・III			

神照小学校 「みずすまし」 活動報告書

1. はじめに

神照小学校では「生物クラブ」として活動する中で、みずすまし活動を行っています。令和元年度は14名（4年生1名・5年生13名）の隊員で活動しました。

今年度は天候不順のため、活動できる回数が少なくなっていました。しかし、自分たちが活動したことを校内に発信するなど、「みずすまし」の隊員として活動してきました。

新庄寺町の川の指標生物の採取は、クラブ活動の時間に行いました。また、鬼川と学校から離れている大井川支流の口分田地点は、夏休みに時間をかけて行いました。

2. 活動内容

【新庄寺町の川の調査】

調査実施日 2019年6月20日 15時ごろ

天候 晴れ

1学期と2学期に一度ずつ調査を行っている川です。今年度は、天候不順のため、一回しか調査できませんでした。水は少し濁っていました。泥はありましたが、悪臭はせず、ところどころに小石や砂利が見られる浅い川です。サワガニが多く、15分程度の採取で数十匹とれていました。また、ヒゲナガカワトビケラも数匹見られました。指標生物の他には、ヌマエビやカワムツの若魚も見られました。昨年度と大きな変化はなく、水質の悪化も見られませんでした。

【大井川支流（口分田町）の調査】

調査実施日 2019年7月24日 9時30分ごろ

天候 晴れ

夏休みにクラブ活動の一環として、調査を行いました。真夏に関わらず、水温が20℃と低く、サワガニやトビケラ類といったきれいな水を好む生き物が多く見られました。水源が姉川の伏流水であるため、きれいで冷たい水をたたえています。水源が近いこともあってか、昨年度と比べてもCOD値に大きな変化はありませんでした。しかし、昨年度は大量に採取されていたヒゲナガカワトビケラの数が少ないことが気がかりでした。



【神照小学校横の鬼川の調査】

調査実施日 2019 年 7 月 24 日 10 時 30 分ごろ

天候 晴れ

上記の調査場所と同日に調査を行いました。シジミ類やミズムシなどの指標生物が多く採取できました。流れが速く、水深もあるため、生き物の採取が難しかったのですが、繁茂している水草（カナダモ類）の中には、ヌマエビが非常に多く隠れていました。他には、アメリカザリガニも見られました。水質は汚れているという結果が出ました。しかし、他の地点に比べてみると、採取された生き物の数は多く、特にミズムシやヌマエビは非常に多かったです。また、ドンコやコオイムシのような水生生物も見られました。



3. 調査考察

例年に比べて調査回数が少ない中での活動でした。夏と秋と比べた水質や川の中の環境を調べることで、その変化を調べたかったのですが、天候不順でそれができませんでした。しかし、例年の調査と比べてみると、三つの川の様子はそれぞれ異なるものでした。

まず、新庄寺の川ですが、例年と比べると水質はきれいになっており、例年通りたくさんのサワガニが採取されました。また、例年は見られなかったカワムツの若魚が見られるなど種類は多様になっていました。

次に、大井川支流（口分田町）の川ですが、一昨年度までは非常に多く見られたヒゲナガカワトビケラの数が少なくなっていました。水質や川底には変化は見られないように思われるのですが、生息している生物に変化があるということは、何かしら要因があったものと考えられます。川掃除などの人的要因も考えられます。毎年1回しか調査ができていない川ですが、夏と秋で変化を比べられると、また違った要因が浮かんでくるかもしれません。

最後に、鬼川です。時期によって、川の様子が異なる川です。また、上記の二つの川と比べると、大きな川です。川岸に土や草花、川底には水草が生えるなど、三面コンクリートの川ではありますが、多様な生物が見られます。ミズムシやヌマエビ類が多く、それを食べる魚類なども多く生息しています。川底に泥も溜まっており、生き物が多いのですが、他の二つの川より水質も汚れていました。これは今までの調査も同様でした。

4. 終わりに

児童たちは調査をしながら、生き物の多様性に驚き、きれいな川なのに生き物が少ないことに驚いていました。また、水質的には汚れている川の方が、たくさんの生き物がいることにも関心を示していました。

これまでの調査では、主に指標生物に着目して採取を行ってきましたが、これからは指標生物以外の数や季節による生物種の変化も比べてみると、神照学区の河川がどのように変化してきているのかをより詳しく知ることができると感じました。